

## 第25回地本委員会開催



3月1日(水) JR西労組神戸地方本部2017春闘学習会を行った後、兵庫勤労市民センターにおいて第25回神戸地本委員会が開催されました。会場には春闘勝利にむけて各分会より集まった檄布が壁一面に飾られてありました。地本委員、傍聴合わせ90名以上の組合員が参加しました。

代表者の挨拶では、川原執行委員長より安全について、福知山線列車脱線事故から間もなく12年を迎えようとしており、安全への取り組みは着実に前進しているように感じるが、触車事故や墜落事故が続けて発生している事を深刻に受け止めなくてはならない。また乱用薬物検査の拡充について会社は薬物の怖さを丁寧に説明しているかや同意書について強制的になっていないか等各分会で会社へのチェックを行っていただくことを強くお願いしたい。との話がありました。

続いて来賓の代表として中央本部の須藤副委員長より安全の確立についてや2017春闘について、また交通政策をすすめる会の加入促進についてもお話がありました。委員会は神戸支部の堀議長進行のもと、スムーズに行われました。

当面する活動方針のうち、今後の具体的取り組みとしては2017春闘について、職場のあり方提言委員会の取り組みについて、JR西労組結成25周年にむけた取り組みとして25年を経験していない役員や組合員がみてもわかりやすい資料として後世に残すべく、記念誌を作成し、第29回定期中央本部大会において配布することを発表しました。



質疑応答の際には11名の委員より春闘についてや日ごろの業務課題等27項目もの意見が出されました。大内書記長の総括答弁の後、川原委員長の力強い団結ガンバローで気持ちをひとつにしました。

2月19日に姫路運輸分会の中嶋秀行さんが業務中に倒れ、お亡くなりになるという痛ましい事象が発生しました。悲しみにたえません。心よりご冥福をお祈りいたします。

ご遺族様へ、中嶋さんが加入されていた「交運共済」「家族支援共済」の説明時に、奥様より「家族支援共済の制度があることを初めて知りました、子供も小さいので助かります、JR西労組の組合員の皆様へ感謝の気持ちを伝えるさせていただきます」

とのお言葉をいただきましたので、神戸地本ニュースに掲載させていただきます。